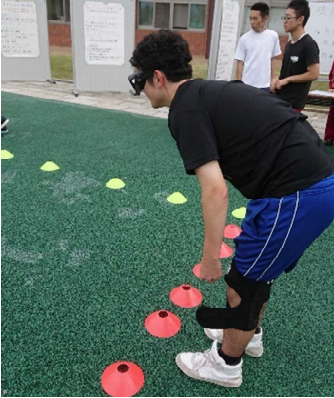


平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立恵那高等学校 事業実施報告書⑤

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	生徒会執行部
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ○行事名（ 球技大会 ） (2) 地域における活動 ○その他（ 恵那市教育委員会スポーツ課訪問 ）
4 目 標 (ねらい)	・生徒会活動を通じて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下東京2020大会）への主体的・自発的な参画（「学ぶ（知る）」「観る」「する（体験）」「支える」と、東京2020大会の発展に寄与する人材の育成を図る。
5 取組内容	①球技大会（生徒会主催行事） 【学ぶ（知る）】 ○東京2020オリンピック・パラリンピックの情報発信 *生徒会企画「ポスター掲示」   *恵那市の東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致活動や地元出身のオリンピック・パラリンピアンを紹介等をポスターで紹介した。 【する（体験）】 ○障がい者スポーツ体験 *生徒会企画「ボッチャ体験」   *パラリンピック実施競技の「ボッチャ」の体験コーナーを設置、多くの生徒や先生が障がい者スポーツを体験した。

	②恵那市教育委員会スポーツ課訪問 ○「恵那市の東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致活動の全容を知る」 *生徒会執行部役員が10月に恵那市教育委員会スポーツ課を訪問し、担当者より恵那市の東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致活動に取り組むに至った経緯や進捗状況、今後の展開等について教えていただいた。 
6 主な成果	・生徒会執行部の生徒がオリンピック・パラリンピック教育のリーダーとしての自覚をもち、様々な活動を企画・運営してオリンピック・パラリンピックの情報を発信してくれた。生徒会の活躍もあり、オリンピック・パラリンピックに向けての生徒の興味・関心は確かに高まりつつある。 ・全校生徒が体を動かす機会を活用し、オリンピック・パラリンピックの知識をコート側面に掲示することにより、スポーツの価値や素晴らしさを生徒は実感することができた。 ・「ボッチャ体験」をきっかけとして、普段関わりの少ない障害者スポーツについて関心をもったり、障害のある方への理解を深めることができ、生徒にとってパラリンピックがより身近な存在となった。 ・恵那市の東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致活動について担当者の方より懇切丁寧に教えていただいたお陰で、恵那高校が東京2020大会を機に地域に貢献できることは何かを考えるための材料を得ることができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	・オリンピック・パラリンピックの情報発信の機会として、球技大会を選択した。グラウンドと体育館に近接した中庭にポスター掲示とボッチャ体験の場を設置し、球技大会の合間に気楽に見たり参加できる雰囲気づくりを心掛けた。 ・「ボッチャ体験」では、上位入賞者を球技大会閉会式で表彰するなど、積極的な参加を促す工夫をした。 ・恵那市教育委員会スポーツ課を訪問するにあたって、生徒会執行部の生徒に、この事業の主旨の説明と恵那市の取り組み等の事前指導を行い、本校のオリンピック・パラリンピック教育のリーダーとしての自覚をもたせた。
8主な課題等	・地域のイベントに、生徒会を主体に有志を募り、オリンピックやパラリンピックの種目の体験や地域のオリンピック・パラリンピアンを紹介ブースを出展するなど、地域の方にもオリンピック・パラリンピック・ムーブメントの輪を広げることができたのではないかな。
9来年度以降 の実施予定	・生徒会主体による定期的なオリンピック・パラリンピックの情報発信に着手したい。また、生徒にとって学校行事の最大イベントである「文化祭」を最高の情報発信の機会とし、生徒会執行部がリーダーとなって企画・運営し、オリンピック・パラリンピック教育を発展させていきたい。